



横田基地に配備されているCV-22オスプレイについて（要請）

令和4年9月3日未明、アメリカ空軍横田基地に配備されているCV-22オスプレイの地上待機措置について、9月2日解除された旨通告があった。東京都及び横田基地周辺5市1町は、CV-22オスプレイのハード・クラッチ・エンゲージメント（以下「HCE」という。）に起因する事故が、2017年以降で計4件、過去6週間で2件発生したとの事実を重く受け止め、地上待機措置となったと理解している。一方、これを契機にCV-22オスプレイの機体の安全性や運用に関する基地周辺住民の不安はこれまで以上に高まりをみせている。

HCEに対しては、安全に運用できる手順が既に確立されており、オスプレイの飛行を一律に見合わせるべき機体の安全性に係る技術的課題は存在しないとのことである。こうした中で飛行は再開されたが、基地周辺住民の中には、安全性に対する不安の解消に至っているとは考えられず、飛行運用に対する不安を、更に募らせることも懸念される。

CV-22オスプレイの運用に当たっては、機体の安全性や運用に関する基地周辺住民の不安が解消されるよう、安全確保の徹底はもとより、十分な説明責任を果たすよう強く要請する。

令和4年9月4日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー L. ラダン大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会



会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	瑞穂町長	杉 浦	裕之
	立川市長	清 水	庄平
	昭島市長	臼 井	伸介
	福生市長	加 藤	育男
	武蔵村山市長	山 崎	泰大
	羽村市長	橋 本	弘山